

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 100-0011
 住所 東京都千代田区内幸町一丁目1番1号
 氏名 医療法人社団 葵会
 理事長 新谷 幸義 印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	医療法人社団 葵会		
主たる事務所 又は事業所の所在地	神奈川県川崎市川崎区田町2-9-1		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	P	医療、福祉
	中分類	83	医療業
主たる事業 の内容	病院、診療所及び介護老人保健施設		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	3,351	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t -CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
	電話番号		
	FAX番号		
	メールアドレス		
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計画期間及び報告年度	平成28年度 ～ 平成30年度 (報告年度 平成29年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。
5 氏名(法人にあっては、その代表者)を記載し、押印することに代えて、本人(法人にあっては、その代表者)が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第1号、第2号、第4号該当者等）

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況（排出係数固定）

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	(実) 6,488 t-CO ₂ (調) 6,403 t-CO ₂	(実) 6,744 t-CO ₂ (調) 6,653 t-CO ₂	(実) 6,718 t-CO ₂ (調) 6,631 t-CO ₂	(実) t-CO ₂ (調) t-CO ₂	(実) 6,288 t-CO ₂
削減率		(実) -3.9 % (調) -3.9 %	(実) -3.5 % (調) -3.6 %	(実) % (調) %	(実) 3.1 %

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の 活動量	延床面積		単位	t-CO ₂ /m ²	
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値
排出量 原単位等の値	0.1396	0.1451	0.1446		0.1354
削減率		-3.9 %	-3.6 %	%	3.0 %

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	大型病院の空調設備が、想定以上のエネルギー消費となった。 既存吸収式冷温水機の老朽化と、夏季の猛暑の影響もあり、空調エネルギー消費量が増加した。
第2年度	平成29年度に既存空調機を高効率空冷チラーに更新したが、病院の診察者数の増加により、施設稼働率が上昇した。 これに伴い、温室効果ガス排出量が増えたが、今後は空調設備の適切な管理を行い、エネルギー消費量の削減を図る。
第3年度	

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第1号、第2号、第4号該当者等)	計 画	<ul style="list-style-type: none"> ○空調設備のエネルギー管理 冷暖房時の設定温度を見直し、適正な温度設定を行い省エネに努める。 空調機の手入れを定期的に行い効率的な運転を維持する。 ○照明設備のエネルギー管理 過剰照明を防止するため、灯具間引きや昼休みの消灯、晴天時の自然光導入などの適正な管理を行う。
	第1年度	<ul style="list-style-type: none"> ○空調設備のエネルギー管理 室内機フィルターの定期的な清掃を行う。 設定温度の維持と、不要時の運転停止。 ○照明設備のエネルギー管理 不要時の消灯、反射板の清掃。
	第2年度	<ul style="list-style-type: none"> ○既存大型空調機を高効率空冷チラーへ更新した。 ○既存照明灯具を更新する際は、LED灯具等の省エネ灯具へ更新する。
	第3年度	
自動車等 (第3号該当者等)	計 画	
	第1年度	
	第2年度	
	第3年度	

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	<p>葵会グループとして 「国内クレジット制度」を活用し、CO2排出量の削減に取り組んでいる。 ・千葉・柏りハビリテーション病院 638tCO2 ・八本松病院（広島県） 375tCO2 今後は上記施設の導入経験を活用し温暖化防止に努める。</p>
第1年度	葵会グループ各施設の照明設備をLED灯具や高輝度誘導灯へ更新し、CO2排出量の抑制に努める。
第2年度	葵会グループの老朽化した設備を更新する際は、省エネ器具への更新を検討し、CO2排出量の抑制に努める。
第3年度	

5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	<p>1) 「一般廃棄物」・「医療廃棄物」の減量化 ・AOI国際病院（川崎南部病院）の現在の廃棄物排出量の削減に取り組む。 年間廃棄物排出量 「一般廃棄物」・・・99,000kg 「医療廃棄物」・・・201,720kg 今後、毎年1%の排出量削減に取り組み、3年後目標排出量を 「一般廃棄物」・・・96,000kg 削減量3,000kg 「医療廃棄物」・・・195,600kg 削減量6,120kg にする。</p> <p>2) 従業員への教育・訓練 今後、葵会グループのホームページでグループ全体として環境負荷抑制に努める事を公表し、従業員にも朝礼・回覧板等を通じて周知に努める。</p>
第1年度	<p>1) 「一般廃棄物」・「医療廃棄物」の排出量を管理し、年間排出量の抑制に努める。 2) 従業員への教育・訓練 葵会グループ全体として環境負荷抑制意識の向上に努める。 またHPや掲示板に提示し周知を徹底する。</p>
第2年度	1) 葵会グループの各施設で導入した、空調や照明等の更新による省エネ効果を共有し、グループ全体の省エネ意識を向上させる。
第3年度	

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績（排出係数反映）

(1) 事業者単位

ア 第1号、第2号、第4号該当者等

(実)	6,533	t-CO ₂
(調)	6,416	

イ 第3号該当者等

(実)		t-CO ₂
(調)		

(2) 事業所等単位（第1号、第2号該当者等）

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が1,500kl以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
A01国際病院 葵の園・川崎南部	神奈川県川崎市川崎区田町 2-9-1	8311	一般病院	5,085 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500kl以上1,500kl未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500kl未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400～500kl 未満	
300～400kl 未満	2
200～300kl 未満	
100～200kl 未満	
100kl 未満	

(3) 事業所等単位（第4号該当者等）

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t以上（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t未満（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の数

事業所数	
------	--